

④ Int. Cl.<sup>3</sup>  
H 04 R 9/02  
7/04  
9/06

識別記号  
103

厅内整理番号  
6433-5D  
6835-5D  
6433-5D

④公開 昭和57年(1982)7月6日

(全 2 頁)

### ⑤4スピーカ

②実 願 昭55—187380

㉙出願 昭55(1980)12月24日

⑦2考案者 藤井直樹

門真市大字門真1006番地松下電  
器産業株式会社内

⑦出願人 松下電器産業株式会社  
門真市大字門真1006番地  
⑧代理人 弁理士 森本義弘

## ⑤7 実用新案登録請求の範囲

1 ボイスコイルとスピーカフレームを第1のダンパーで接続し、ボイスコイル上方に位置する平板状振動板の外周とスピーカフレームを第2ダンパーで接続し、前記ボイスコイルの振動を円錐形ドライブコーンを介して前記平板状振動板の駆動点へ伝達する平板型スピーカにおいて、前記ボイスコイルの内側に位置するセンターポールに一端が固定され、他端が前記円錐形ドライブコーンの内部に伸びる固定部を設け、該固定部の前記他端と前記円錐形ドライブコーン内周面とを環状のコルゲーションが形成されたダンパーを介して接続したことを特徴とするスピーカ。

2 ダンパーは、断面V型形状でかつ平板状振動板の面がボイスコイルに対して直角となるよう円錐形ドライブコーン内周面に配設された貼付台に、貼着したことを特徴とする実用新案登

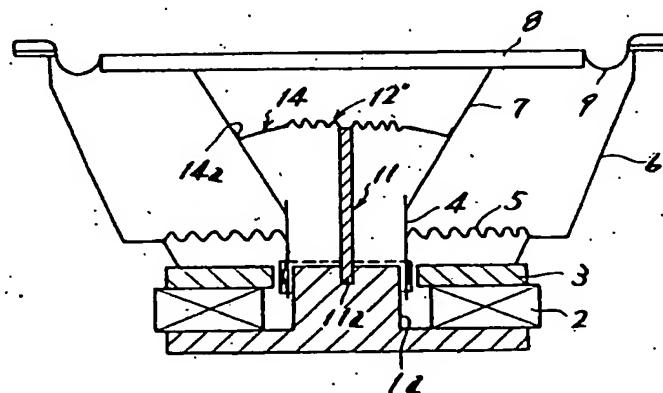
録請求の範囲第1項記載のスピーカ。  
ダンパーは、円錐形ドライブコーン内周面に配設されたドーム状環状体に、貼着したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載のスピーカ。

### 図面の簡単な説明

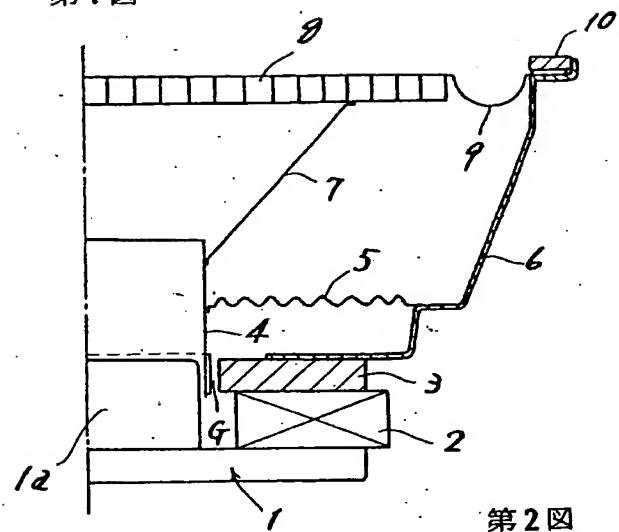
第1図は従来の平板型スピーカの縦断面図、第2図は本考案による平板型スピーカの一実施例の縦断面図、第3図および第4図はそれぞれ本考案の他の実施例の縦断面図である。

1…センター・ポール付プレート、1a…センターポール、2…リング状マグネット、3…トッププレート、4…ボイスコイル、5…ダンパー(第1のダンパー)、6…スピーカフレーム、7…円錐形ドライブコーン、8…平板状振動板、9…エッジ(第2のダンパー)、11…固定部、12、12'、12''…ダンパー、13…貼付台、14…ドーム状環状体。

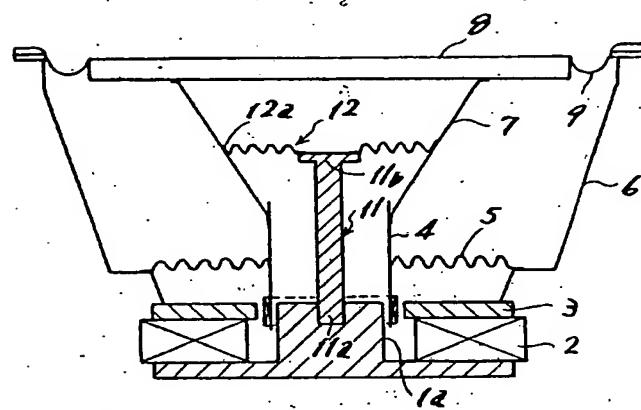
#### 第4図



第1図



第2図



第3図

